

視察レポート

in 北海道

10月2日

勇払郡安平町

10月3日

石狩郡当別町

研修テーマ

10月2日

勇払郡安平町

○北海道地震の被害状況と議会対応について

10月3日

石狩郡当別町

○道の駅と地域振興について



安平町

北海道胆振東部地震の被災地を視察して

加藤光彦

昨年9月6日に発生した北海道胆振東部地震は震度6強の震度で安平町を襲った。町内の建物被害は全壊93棟、半壊357棟、一部損壊2440棟。幸いなことに死者はゼロであった。そもそも我々が体験したことの無い「震度6強

とはどれほどの揺れだったのか」素朴な疑問を安平町の議長、及び職員に生の声を聞いてみた。その回答は「直下型の地震であったため、大きな上下動とその後の横揺れで逃げ出すことはもちろんのこと、何一つ行動をとることができなかった」とのこと。緊急地震速報も地震が発生してから流れたとのことで、避難の役には立たなかったらしい。

今回受けた説明の中で行政向けの部分は割愛するが、我々議員や住民にとって参考にしなければいけないと感じたことを以下に書き記したい。

議員や議会は混乱を避けるため、「状況が落ち着くまで行動及び急を要しない問い合わせや働きかけを災害時に役場内に設置される災害対策本部に行わないこと。そして住民も議員にそれを求めないこと」。


住民に関しては「避難




議員行政



北欧の風 道の駅とうべつ

平成30年北海道胆振東部地震について  安平町 みんなと未来へ繋げるまち



- 安平町 震度6強
- 追分観測点では、最大加速度1,505ガル
- 平成30年9月6日以降
最大震度1以上326回
安平町で震度4以上10回
(平成30年11月30日現在)

2018年09月06日03時08分 胆振地方中東部 M6.7
気象庁ホームページより

発災時の安平町の様子  安平町 みんなと未来へ繋げるまち

- 集積場いっぱいの廃棄物 
- ボランティア等による分別 

所生活4日目頃から体の臭いや痒み、子どもの声などのストレスによりトラブルが発生し始めるので避難所の運営には相互理解や自衛隊などによる入浴支援が必要である」等の説明を受けた。また、避難所の運営がうまくいくか否かは「日頃から行政に頼り過ぎない地域の協力体制を構築しておくことや自主防災組織による効果的な防災訓練の積み重ねによるところが大きい」という説明も印象に残った。

飛島村議会はこれまで大災害の発生した地域の被災状況や復興状況の視察のために全国各地に足を運んできた。ここ数年、全国的にどこでどんな大災害が起きても不思議ではないほど大災害が頻発している。そんな中にある、この地方には最近大きな災害が発生していないのが不気味である。被災地へ視察に行くたび

震災後指揮した職員のお話の現場が聞けました



に思うことは「明日は我が身」災害は忘れた頃にやってくる」という言葉である。全国各地で発生している大災害を人ごとではなく、自分ごととして捉え、近い将来発生するとされている南海トラフ大地震の減災のために最善の備えをしておく必要があると改めて感じさせられる視察となった。

今後来るかも知れない 災害に備えて **安平町** みんなで災害に備えよう

今回の地震において、改めて感じた点

- 訓練の大切さ (防災訓練では災害発生訓練のD・I・Gや避難所運営訓練H・I・Gが有効)
- 情報の開示の必要性 (マスクのみの連携・忘れな心)
- 無駄と思うかどうか (防災備蓄品の大切さ)
- 情報収集の努力 (危険と思ったら即行動・自分で)
- 人との絆の大切さ (普段からのコミュニティ・聞く・教える)
- 感謝の気持ち! (全国からのボランティアなど・避難生活が長引くと対立が生まれる)

「備えよ! 常に」が原点と「常に最善」

平成30年北海道胆振東部地震被害概要 要約最新版 (安平町)

1. 地震の概況 (気象庁発表)

発生日時: 平成30年9月6日 午前3時7分
震源地: 胆振地方中東部 (北緯42.7度 東経142.0度)
震源の深さ: 37km
地震の規模: マグニチュード6.7
安平町の震度: 震度6強
※9/6から11/11まで震度1以上の地震回数
震度6強 1回、震度4 8回、震度3 29回、
震度2 70回、震度1 137回
余震合計245回 (気象庁HP)

2. 被害の状況 平成31年3月31日時点

- 人的被害 死亡者 0名 重傷者 7名 軽傷者 10名
- 建物被害 (安平町) <住家>
全壊 93棟 大規模半壊 54棟 半壊 303棟
一部損壊 2,440棟 無被害 185棟
住家合計数 3,075棟
- ライフライン11月1日調査時点
 - 水道 全世帯で断水。本管損傷等による。
追分地区 1,628戸 早来地区 1,965戸
合計 3,593戸
・発災後、9月末を目標に復旧着手
・断水中は給水車を配置 (国土交通省・陸上自衛隊・応援市町給水タンク車)
・9/29 (土) に断水解消
 - 電気 全世帯で停電 (断線・電柱倒壊)
追分地区 1,628戸 早来地区 1,965戸
合計 3,593戸 9/18 16:30頃 完全復旧
 - 道路 平成30年10月1日時点
 - a 町道
追分地区通行止め6路線、片側通行3路線
早来地区通行止め15路線、片側通行3路線
b 道道 1路線通行止め (瑞穂ダム)
道道 千歳鶴川線、道道北進平取線の通行止めは9月19日に解除
道路・河川災 74箇所のうち、試掘調査済箇所を含めると18箇所が埋文蔵地近接箇所該当。

■処理場までの道路が土砂崩れにより寸断され使用できない→10/22より通行可
■通常収集の開始9月10日 (月) から
■自己搬入による震災ゴミの受け入れ (大師ヶ丘公園) 9月10日 (月) 8:30~17:00から開始
■事業系ゴミの受け入れ (大師ヶ丘公園) 9月12日 (水) から10月19日まで
■震災大型ゴミの回収9月22日 (土) 遠浅地区、安平地区9月23日 (日) 追分地区 9月24日 (月) 早来地区、遠浅地区、安平地区
自宅前の収集について10/8 (月) まで期間延長

- 家電リサイクル法対象品の受け入れ~9/27から受け入れ (厚真・むかわ実施済)
- 11/10.12 ボランティア・職員との大師ヶ丘公園のゴミの分別を開始 11/17.18も実施予定
- ◎教育施設
■追分小学校、早来中学校が被災し校舎等の使用が出来ない。
・追分小学校: 9月13日から再開 (追分中学校にて再開) 3学期より小学校で授業再開 H31.1.21
・早来小学校: 9月13日から
・遠浅小学校: 9月14日から
・追分中学校: 9月13日から
・早来中学校: 9月14日から (早来町民センターにて再開)
※早来中学校 仮設校舎 12月25日完成 3学期より仮設校舎へ H31.1.15
仮設校舎 約145,000,000円
◎安平町内における墓地被害について

平成30年北海道胆振東部地震による基石破壊状況

	全壊	半壊	一部損壊	無	基石合計	破壊率
1 早来墓地	372	10	51	13	446	97.0%
2 遠浅墓地	55	5	28	20	148	86.4%
3 安平墓地	123	16	7	12	158	92.4%
4 宮前墓地	30	7	15	37	89	59.4%
5 遠浅墓地	3	0	1	0	4	100.0%
6 追分墓地	156	109	160	642	1,067	42.0%
7 北越墓地	25	19	16	34	94	84.2%
8 中野早来墓地	4	0	1	0	5	100.0%
9 早来早来墓地	1	0	0	0	1	100.0%
	950	188	278	788	2,063	63.8%

3. 罹災証明書の交付状況 令和元年8月31日時点

◎罹災証明書発行場所数 追分・早来 2ブース

<住家> 発行件数

	全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊	無被害
棟数	90/93	49/56	359/308	3,158/2,478	167/185
稼数	96.77%	87.50%	116.56%	127.44%	89.78%

※半壊・一部損壊については、アパート等による借家世帯により調査済棟数より申請世帯数が上回った。 住家合計棟数3,121棟

<非住家> 調査件数

	全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊
棟数	352/343	71/62	436/403	1,670/2,178
稼数	102.62%	114.52%	88.43%	76.67%

視察先1日目の安平町の道の駅も、道の駅とくべつも共に、当初想定した倍以上の来客があり、両町の関係者の皆さんは安堵しておみえでした。実は当別町、4年前に視察させていただいた時にはまさに、道の駅開設の準備中(構想中?)で、私も飛鳥村のような規模の小さい自治体には、スーパー道の駅の開設は夢の様な構想で、また、人ごとながら「そんな大きな物を造って大丈

当別町 上田光彦
10月3日、視察先(北欧の風 道の駅とうべつ)は札幌市に隣接し、姉妹都市スウェーデン国レクサンド市の街並みを模した、北欧風の外観の建物が特徴的な道の駅で、平成29年9月にオープンし、まるっと2年経過しました(9月14日から2周年祭)。

当別町の優位性

当別町は北海道最大の都市札幌市に隣接し、札幌都心部からJRで約35分、車で約45分とアクセスに優れ、札幌への通勤通学圏内です。また、石狩湾新港と新千歳空港を結ぶ国道337号と、道北方面に通じる国道275号が交差する交通の要衝でもあります。

国道337号沿いには、平成29年9月に「北欧の風 道の駅とうべつ」がオープンしました。農産物直売所・特産品ショップやレストラン・テイクアウトコーナーを備え、当別町のインフォメーションセンターとしての役割と、24時間トイレの設置により、ドライバーの休憩スペースとしての役割も担っています。

当別町の最大の魅力は、豊かな田園風景と山々、自然環境の中でゆったりとした田舎暮らしが可能であることと同時に不便さを感じない都市機能を有している点です。

その自然景観がスウェーデンと大変よく似ていることから、スウェーデン王国レクサンド市と姉妹都市盟約を締結し、国際交流のまちとしても知られています。

また、町内には医療系総合大学の「北海道医療大学」があり約3,500人の学生が学んでおり、福祉のまちとしてさまざまな取り組みを町民と共にしています。





夫なんですか？」などと上から目線で、当別町職員に質問していた事を思い出しました。

当時も思っていたのですが、札幌都心部から約25キロメートル、豊平川が合流する石狩川に隣接し、札幌大橋を渡ればすぐ当別町です。どこかで聞いたような地理。実は4年前も気付いていたのですが、まさに飛鳥村の様でした。もちろん、環境も諸条件も違いますが「もし飛鳥村にこの規模の施設を造るならどこか

いいんだらう」なんて視察帰りに皆と想像したり、うらやましくもまた、その成功を祈っていました。飛鳥村にも...と考える中、飛鳥村にはその特色を出した、他にはないかたちを模索して、農産物の産直販売、6次産業の商品開発、施設の運営等に活かしていければと思う視察先でありました。

- 館内はIKEAのプロデュースにより、全体が北欧の雰囲気に包まれている
- こだわりのテナント事業者を選定



RESTAURANT
カフェ テルツィーナ

北海道を代表するイタリアンレストラン「トラットリア・ピッツェリア テルツィーナ」の稲川秀樹シェフがプロデュースするレストラン。北海道産食材を使用した「北海道イグリアン」の指導で、当別町の食材をみんだんに定めた地産地消を提供。おすすめは、道の駅とうべつ限定の当別米を使用した炭セリソフトと当別小麦を使用した生パスタ。カリッとした食感が楽しめる焼きソフトもちもちの生パスタは、メイン料理として盛り高いソースとともに当別のおいしさをお楽しみいただけます。

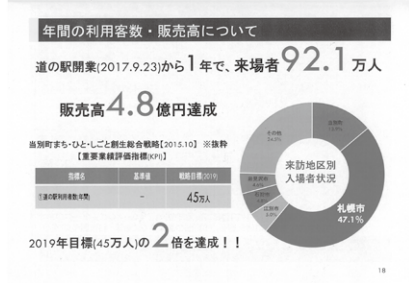
SWEETS
スイーツコーナー

和菓子の有名店「一茶大福堂」が提供する当別米で作ったおだんご、併設された工房でつくったものが並び、道の駅とうべつオリジナル商品には、当別の米粉をブレンドしたパンや、スイーツも、当別町内の産物スイーツとともに土産もここぞ。

稲川秀樹シェフ
1961年神奈川県生まれ、1991年渡伊。ローマとヴェネツィアで修行を積み1998年に「トラットリア・ピッツェリア テルツィーナ」をオープン。現在サッポロファクトリーの本店の傍に江別にもプロデュース店が。

営業時間
11:00~18:00(17:00)

メニュー
お手製ランチ(メイン料理、パン) ¥1,000
Aコース(メイン料理、前菜盛り合わせ、パン) ¥1,500
Bコース(メイン料理、前菜盛り合わせ、パン、デザート) ¥1,800



令和元年度 町村議会広報研修会



9月25日にシエーンバッハ・サボー(東京)において、町村議会広報研修会に参加しました。

『月刊総務』編集長豊田健一氏から「読者目線で親切な広報誌を作るには」、朝日新聞メディアプロダクション校閲事業部長前田安正氏から「情報をわかりやすく伝える

10/7
9/25

町村議会広報研修会
愛知県町村議会広報研修会

議会広報編集委員会



る」、エディターの吉村潔氏から「町村議会広報コンクール上位入賞団体の評価ポイント」と題した講演を拝聴しました。

また10月7日には、第32回愛知県町村議会広報研修会で「今後の広報のあり方」と題し、広報コンサルタントの芳野政明氏の講演を拝聴しました。

皆さんに、分かり易い「議会だより」を目指します。